

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 発達心理学 I	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 板垣 寛	当該科目に関する実務経験 臨床心理士 児童相談所相談員 児童発達支援センター相談員
授業の回数 8 回	時間数 (単位数) 16 時間 (2 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい及び概要] ・心の発達、感覚・知覚・認知、社会性、気質・性格、感情など様々な側面を見せながら、人の一生を通じて変化をしていく。発達は、個々に異なる様相を見せると同時に、乳児期・幼児期・学童期・青年期などのライフステージにおける普遍的特徴をもつ。本科目では、発達の概念および各ライフステージにおける心理及び行動の特徴について学び、また発達における環境の影響として学習や動機付けの理論について学ぶ。こうした学びによって、子どもの発達過程を踏まえて、主体的学習を支える援助のあり方について、理論的に説明できるようにする。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1・子どもの発達を理解することの意義 2・子ども観と保育観の変遷 3・胎児期・新生児期の発達の特徴 4・乳幼児期の発達の特徴 5・児童期の発達の特徴 6・青年期の発達の特徴 7・身体・運動の発達 8・認知の発達 9・言語の発達 10・感情の発達 11・気質・性格の発達 12・学習理論 13・動機付け 14・心身の発達を踏まえた保育者の指導 15・心身の発達を踏まえた集団作り			
[使用テキスト] ・「シードブック」(建帛社) [参考文献] ・「発達心理学キーワード」(有斐閣)・「発達心理学の基礎と臨床1・2・3」(ミネルヴァ書房)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%)			

・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。